

SolaX Power 製蓄電システム単機能運用ガイド

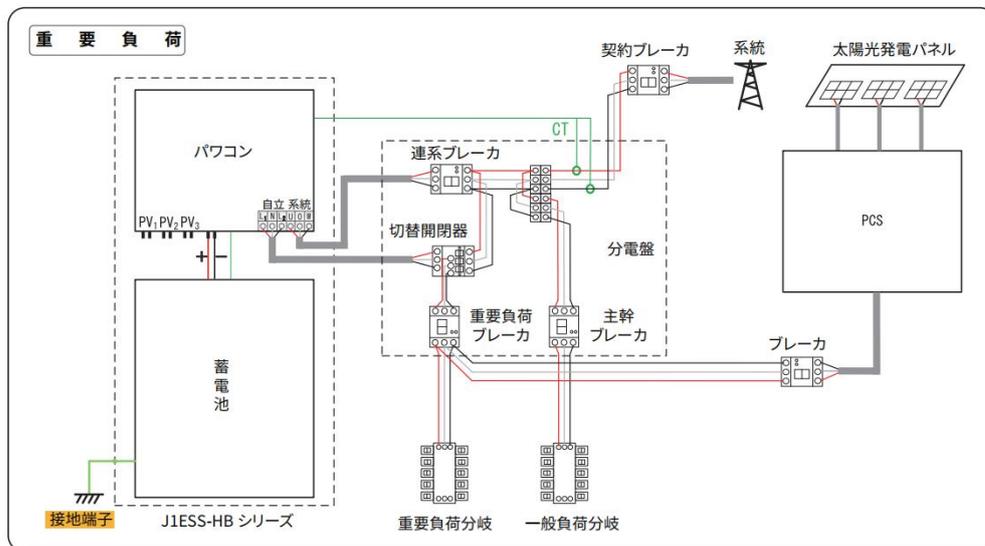
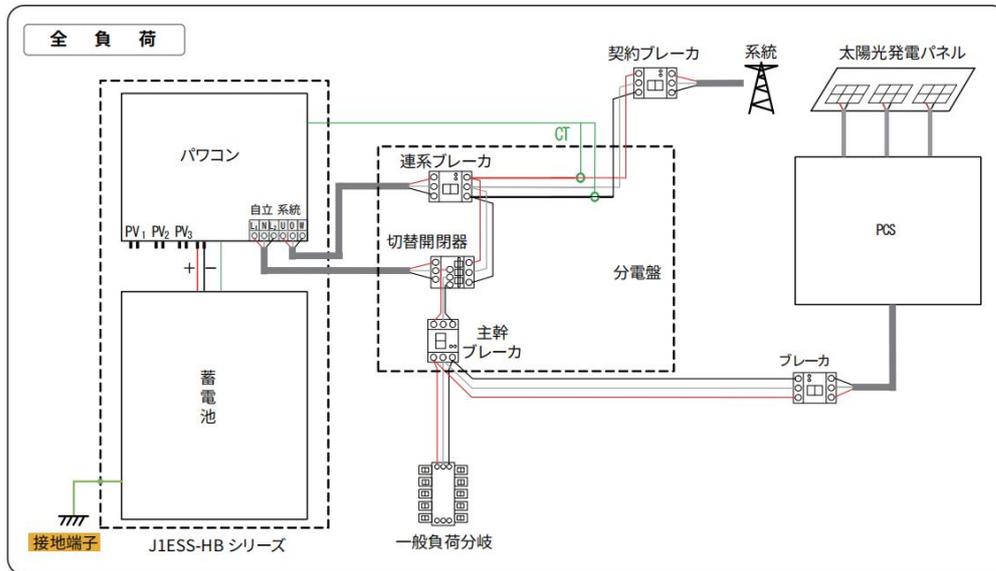
(単相蓄電システム J1ESS-HB シリーズ向け)

本ガイドについて

本書は、J1ESS-HB シリーズ蓄電システムが単機能運転の場合、運転、施工、操作について説明しています。本書をよく読み、機能・特徴を十分に理解のうえ、ご使用下さい。

一、配線接続図

J1ESS-HB シリーズ蓄電システムが単機能運転の場合、全負荷接続及び重要負荷接続両方とも対応しています。施工する際に、下記の配線図及び J1ESS-HB シリーズ蓄電システム施工説明書をご参照ください。



二、室内リモコン設定

J1ESS-HB シリーズ蓄電システムが単機能運転の場合、下記の通りに室内リモコンにて「単機能」の選択をオンにする必要があります。詳細設定に入るパスワードは J1ESS-HB シリーズ施工研修会をご受講頂いた際に開示致します。

- ①室内リモコンのホーム画面をタッチします。
- ②右の矢印をタッチします。



- ③詳細設定に入ります。(パスワードは施工研修会にて開示します)
- ④右の矢印をタッチします。



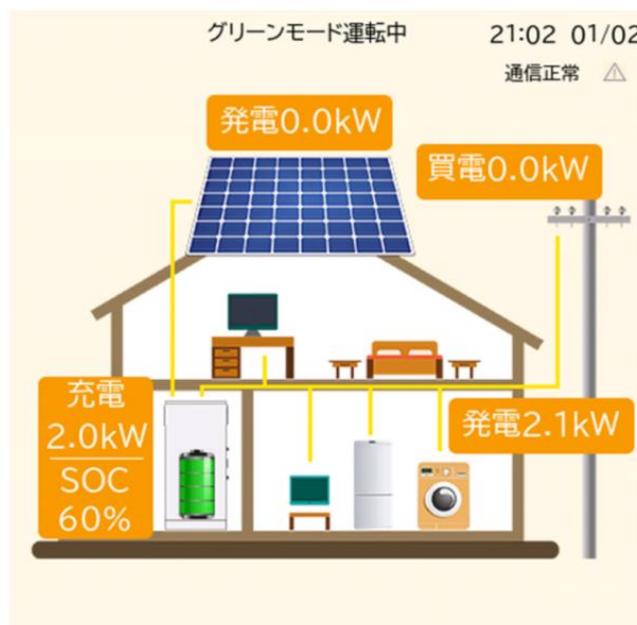
⑤「保護機能整定値」にある↓の矢印をタッチします。

⑥「単機能」の選択をオンにします。



三、単機能運用の際の室内リモコン表示

J1ESS-HB シリーズ蓄電システムが単機能運転の場合、太陽光パワコンが発電している際に、室内リモコンの画面表示は下記の通りに変更されます。



単機能運用において、太陽光パワコンが発電している際に、負荷に給電した上で、余剰電力があれば、「消費」の部分は「発電」に変え、太陽光パワコンより蓄電システムに流れ込んだ余剰電力量の数値が表示されます。

四、単機能運用の際の注意事項

J1ESS-HB シリーズ蓄電システムが単機能運転の場合、下記のいくつかの事項を注意する必要があります。運用する際に、ぜひご注意ください。

①施工時に、既設太陽光パワコンの出力が蓄電システムの自立側に接続します。

既設太陽光パワコンの出力が蓄電システムの自立側に接続する必要があります。そうでなければ、太陽光パワコンが蓄電システムに充電できない可能性があります。また、停電時に、蓄電システムから太陽光パワコンに給電することもできません。

②単機能接続方は既設した太陽光パワコンの最大出力が 5.6kW 以下の場合に限ります。

既設太陽光パワコンの最大出力が 5.6kW を超えてはなりません。

③蓄電システムがコールドスタンバイの状態に入ったら、太陽光パワコンが発電しても、蓄電池に充電できません。

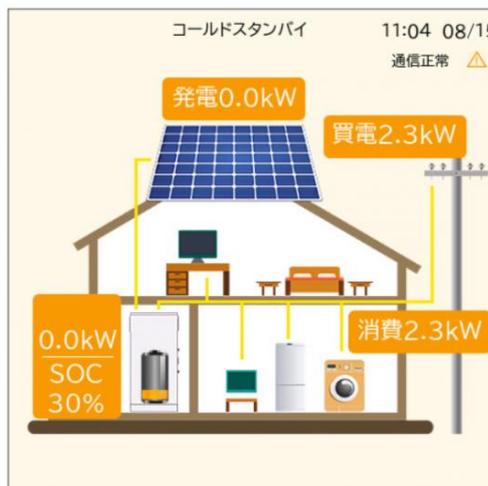
コールドスタンバイの状態において、蓄電システムは完全待機になり、その際に、太陽光パワコンが発電しても、蓄電システムに充電できません。

コールドスタンバイ及びコールドスタンバイを避ける対策は後文の「五、コールドスタンバイ」及び「六、コールドスタンバイへの対策」にて紹介致します。

⑤蓄電システムはコールドスタンバイの状態であれば、SolaX Cloud での表示データは誤る可能性がありますので、参考にならないことをご承知おきください。

五、コールドスタンバイ

リン酸鉄リチウムイオン電池の特性として蓄電池を完全に放電させると、蓄電池の寿命に大きな影響をもたらします。そのため、一般的に、蓄電池に一定残量を確保し、0%まで放電させないような設計をとっています。J1ESS-HB シリーズ蓄電システムの放電深度は 90%で、最低容量に達したら蓄電池の寿命を確保およびシステムの電力消費を減らすために、コールドスタンバイの状態に入ります。



コールドスタンバイが発生した際の室内リモコン表示

下記の条件を満たせばコールドスタンバイ状態に入ります。

- ①蓄電システムに接続される太陽光パネルが発電しない
- ②系統からの充電がない
- ③蓄電池残量が設定された最小容量値に達する
(最小容量値は 10%まで設定可能)

下記の条件を満たせば自動復旧します。

- ①蓄電システムに接続される太陽光パネルが発電開始
- ②充電時間帯に入る(系統からの充電開始)

単機能運用の場合、太陽光パネルは蓄電システムではなく、太陽光パワコンに接続されていますので、コールドスタンバイが発生したら、太陽光パネルが発電しても蓄電システムに充電できません。そのため、蓄電システム自身に対する設定が必要です。

六、コールドスタンバイへの対策

コールドスタンバイの状態において、蓄電システムは長期にわたって待機状態になっており、太陽光パワコンが発電しても、蓄電できないことがありますので、エネルギーの浪費を招く可能性があります。該当現象を回避するために、コールドスタンバイを避ける対策を紹介致します。

①安心モードの設定

安心モードでは蓄電池に一定の残量を確保しますので、コールドスタンバイの状態を防げます。

下記の手順で「モード選択」→「安心モード」によって設定可能です。



②充電時間帯の設定

充電時間帯の設定で、蓄電システムはご設定された時間帯で系統から買電して蓄電池に充電します。

下記の手順で「ユーザ設定」→「充放電時間帯設定」で充電時間帯を設定可能です。

時間は朝の早い時間帯に設定することで、太陽光パワコンが発電している時に、蓄電システムはコールドスタンバイではないことを確保します。



お問い合わせ

ご不明な点は、お買い上げの販売店や施工店、もしくは下記までお問い合わせください。

【SolaX アフターサービス・コールセンター】

電話 080-0100-2327

受付時間 9：00～19:00(土日・祝日・休業日を除く)

メール：service.jp@solaxpower.com

【販売店・設置業者】